

令和 6 年度 日本大学 学生 FD CHAmmiT

第1・2回 スタッフミーティング報告書

日本大学 学生FD CH AmmiT スタッフ一同



自主創造
日本大学

CHAmmiT について

CHAmmiT とは、日本大学に所属する方たちを対象とした「日本大学での教育をより良くするにはどうしたらいいか」について話し合うイベントです。普段、各学部の学生・教員・職員の三者それぞれに関わりはあっても一堂に会し話し合う機会はありません。学生・教員・職員間という普段はあまり関わりあいが無い三者が、立場や学部を超えて話せる数少ない機会がこの CHAmmiT であり、また話し合いで出たアイディアは今後の日本大学の教育に活かされます。

第 1 回ミーティング

第 1 回目のミーティングが 5 月 25 日に開催されました。主な内容としては

- ・ 部門見直し・学生役割の決定
- ・ 教育につながる企画(テーマ)の検討

以上 2 点について話し合いました。

部門見直し・学生役割見直しについて、

CHAmmiT の企画・運営に携わる学生スタッフはマネジメント、インフルエンサー、セクレタリ、アートの 4 部門に分かれて、本番に向けて各自が準備を進めます。

マネジメント：本番における各セッションのフレーム作成、ファシリテーションの進め方のマニュアルや事前に行われるミーティングにおけるスケジュール作成等を行います。

インフルエンサー：CHAmmiT の活動を各 SNS において広報活動を行います。

セクレタリ：ミーティング報告書を作成します。

アート：参加募集用のポスター等作成を行うアート部門

第1回ミーティングにおいてはその各部門への参加者割り振り、役割分担やマネジメント、インフルエンサー、セクレタリ、アートの4部門と全体統括としての計5人のキャプテンの決定が行われました。

教育につながる企画(テーマ)の検討について、幾つかのグループに分かれ話し合い、発表するなどしました。日本大学について、学生が今感じている日本大学全体、また自学部が現状として抱えている問題点はなにか。その問題点/改善策を抽出するためにどのように各セッションを作るべきか。そして日本大学が持つスケールメリットにはどのようなものがあるか、またそれはどのように活かされているのか。そしてまだ見つけられていないスケールメリットはなにか、それをどう活かすか。等各卓が様々なことを話し合い、発表の際には多様な意見がみられました。

第2回ミーティング

第2回ミーティングが6月22日に行われました。

内容として、

- ・令和6年度テーマ決定の報告

テーマは

～魅力・強みの再発見～

“日大”をどう生かす？

となりました。

また、このテーマでは日本大学のスケールメリットをどのように活かすかということのみに焦点を当ててしまっており CHAmmitにおいて重要となる教育改善の要素を盛り込めていないのではないかという意見が挙がり、対応として“学び”という要素もセッションに反映させることになりました。

ファシリテーション研修については、以下のようになりました。

- ・ファシリテーション研修

- ・ 参考動画視聴その振り返りと感想の共有

:参考動画視聴については youtube 上のファシリテーションの技術を向上させるためのコツを高める本を要約した動画を視聴し、その後自分が感じた活かせる点等をグループで話し合い発表しました。感想として、本番で活かせるような技術が紹介されていたので活用したいといった意見が挙げられました。



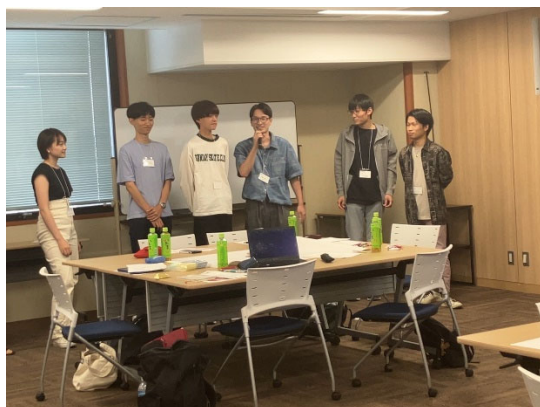
- ・ 実践演習

- ・ 要約力トレーニング（ペアで他己紹介）

:短時間で対話相手の情報を引き出し、それをまとめ他のメンバーに紹介するというものでした。感想として、本番でのアイスブレイクで参加者との距離を縮める時に役立つと感じたといったものが挙げられました。

- ・ 質問力トレーニング（ペアで質問のみの会話練習）

:2人組を作り、片方が質問のみをしていくことで会話を発展させていくといった内容のものでした。感想として、本番でのファシリテーションでは、参加者の意見を深堀することが重要なので質問力を高める練習になったといったものが挙げられました。

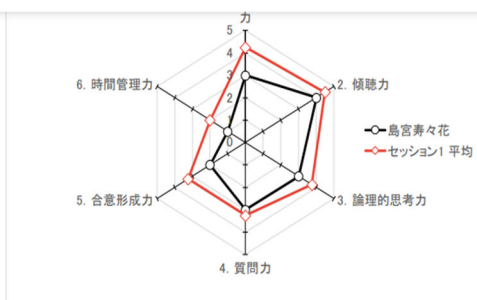
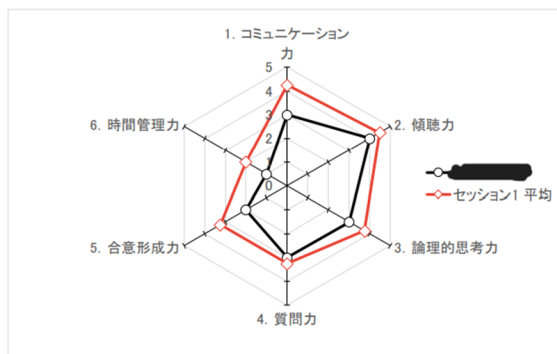


・グループトレーニング



ファシリテーションを実際に行い、また学生が相互評価を行うレビューシートによる相互評価を導入しました。感想として、初めてファシリテーターをしたことで感覚を掴めた。またレビューシートがあることで自分に足りないところを可視化された上でわかるので改善すべきところがわかったといったものが挙げられました。

項目 基準 (各項目5点 満点)	コミュニケーション力 1:できなかった 2:あまりできなかった 3:どちらともいえない 4:できた 5:よくできた (適切な言葉遣い、相手 のニーズ理解、適切 な反応など)	傾聴力 1:できなかった 2:あまりできなかった 3:どちらともいえない 4:できた 5:よくできた (傾き、相づち、同調、 共感など)	論理的思考力 1:できなかった 2:あまりできなかった 3:どちらともいえない 4:できた 5:よくできた (異なる視点を統合、 場の観察、フィードバ ックなど)	質問力 ☐ 皆が回答できる質 問を出せた ☐ 質問を妨げなかつ た ☐ 意見が出ない場で 質問ができた ☐ 参加者に等しく質 問を振られた ☐ 参加者全員が質 問・回答できた	合意形成力 ☐ テーマに沿った意 見を出せた ☐ 対立・反対意見を出 せた ☐ 複数意見の要約 ができた ☐ 参加者に同意を促 した ☐ テーマに関する合 意ができた	時間管理能力 ☐ 時間配分を考えて 進化した ☐ 予定時間を知らせ た ☐ 時間配分通り進 行できた ☐ 残り時間を示した ☐ 時間通り終了した
自己評価	3	4	3	3	2	1
評価者 1	4	5	4	4	3	5
評価者 2	5	5	5	4	4	5
評価者 3	5	5	4	4	4	3
評価者 4	4	5	5	4	4	5
評価者平均	4.5	5	4.5	4	3.75	4.5



1. コミュニケーション力	2. 傾聴力	3. 論理的思考力	4. 質問力	5. 合意形成力	6. 時間管理能力	気づいたこと
		多くの意見を まとめられたと 思う				
全体的に良かった 良くてたと思います	全体的に良かった 良くてたと思います	全体的に良かった 残り5分でしたが、上手くまと めていて参考になった	全体的に良かった 意見が出なかった場面がない ので実質5です	全体的に良かった 反対意見が出るテーマでは ないで実質5です！	全体的に良かった タイマー使ってるのは良いと 思いました。今後自分がファ シリテーターになるときに 導入したいと思いました。	オリジナルで時間を進行してい て時間通りに出来てよかった。 とても良いファシリテーション 時間や進め方を特に参考にし たいです。
相手の話したいことを引き出 せていた	全員の意見を聞いてまとめ ていた	色んな視点から質問できて いた。	全員に平等に質問していた	しっかりとまとめることが できていた。	時間通りに全まわって終了して いた。	ディスカッションの方向性がま まっておりとても話しやすかつ たです 最初に意見を聞いて、その後に 意見を出しやすい空気を作っ ていた。

みなさんはじめてのファシリテーション研修でしたが消極的でなく、主体的・意欲的に取り組んでいる様子が見られました。